

令和6年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター、岐阜市民会館)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	【文化センター】岐阜市金町5丁目7番地2 【市民会館】岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	340,292,491 円		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	【文化センター】催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2 【市民会館】ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

文化センター		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数(単位:人)		49,900	42,418	40,388	61,593	39,446
各室稼働状況(%)	催し広場	25.4 %	52.1 %	28.6 %	51.6 %	39.3 %
	小劇場	45.6 %	0.0 %	36.7 %	56.3 %	44.5 %
	練習室	41.9 %	33.9 %	30.6 %	44.4 %	44.4 %
	展示室	35.4 %	54.6 %	42.1 %	51.8 %	43.7 %
	会議室	36.0 %	43.0 %	36.3 %	42.2 %	33.1 %
	音楽関係室	29.3 %	31.4 %	25.7 %	20.2 %	18.1 %
	美術工芸室	18.2 %	24.1 %	17.7 %	21.1 %	19.0 %
	和室	15.4 %	20.7 %	15.1 %	23.3 %	15.6 %

市民会館		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数(単位:人)		34,435	53,703	40,586	11,833	40,304
各室稼働状況(%)	大ホール	45.4%	42.5%	30.3%	0.0%	34.8%
	展示ギャラリー	39.5%	45.7%	31.3%	36.4%	28.4%
	会議室80	29.5%	31.4%	23.2%	29.1%	25.8%
	会議室48	45.4%	32.7%	29.8%	36.5%	33.4%
	多目的ルームA	33.8%	27.7%	22.3%	23.2%	19.5%
	多目的ルームB	40.9%	35.1%	31.0%	23.9%	30.5%
	練習スタジオ	27.2%	28.8%	22.0%	19.8%	20.2%
	和室	21.6%	19.8%	14.2%	17.8%	17.8%

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守しており、適切な運用を行っている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページ、SNS、広報誌、隔月に発行する催し物案内等を活用した広報活動を実施している。 ④来館者に対しアンケートボックスを設置している。利用者に向けてアンケートを配布、実施する期間を設け、積極的に意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。
自主事業・共催事業	市民の劇場(指定事業)の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②絵本deクラシック ③子ども伝統文化体験教室・発表会(落語)&出前講座(能楽) ④第46回ぎふアジア映画祭 ⑤第36回・37回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募> ⑥ぎふ演劇ワークショップ2024 中学生の部(共催) ⑦岐阜市中学校美術作品展2024(共催) ⑧荒井里桜ヴァイオリン・リサイタル(共催) 市民ふれあい事業(財団主催事業)の実施 ①戯曲セミナー&リーディング発表会 ②グランドピアノ演奏体験 ③OOPARTS2024(共催) ④市民プロデュース公演応援プロジェクト<共催事業> 「Happy Concert Vol.7 ～子どもから大人までみんなで楽しめる～」	市民の劇場(指定事業)の実施 ①【オーディション】参加者7人 ②来場者数【午前の部】452人 【午後の部】398人 ③【子ども伝統文化体験教室・発表会(落語)】 募集15人 応募31人 参加者11人 ④来場者数593人(9作品中5作品上映) ⑤【第36回募集】応募団体7団体 採択団体5団体 【第34回採択事業】小規模会場プログラム1件 来場者17人 【第35回採択事業】ホール系会場プログラム1件 来場者101人 ⑥【中学生対象】参加者数397人 ⑦【文化センター街並ギャラリー展示】毎月市内中学校2校 ⑧来場者数558人 市民ふれあい事業(財団主催事業)の実施 ①【セミナー】募集25人 参加者28人 ②【文化センター】2日間実施 募集16組 応募19組 参加者16組 【市民会館】2日間実施 募集16組 応募16組 参加者16組 ③来場者数3,300人 ④来場者数400人

施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤各種点検業務	①日常清掃、定期清掃を実施している。 ②巡視・点検を随時行い、適切に管理している。 ③受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助について計画通り実施している。 ④貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施している。 ⑤実施計画に基づき、順次実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常業務の中で施設の状況を把握し、適切な修繕を実施している。 【文化センター】 ・展示室・第1会議室・茶室付和室照明器具取替修繕 ・茶室付和室襖貼替・畳取替修繕 他 【市民会館】 ・北面外壁漏水修繕 ・大ホール1階女子トイレ修繕 他
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応した。また、マイナンバーの取扱いについて、特定個人情報取扱規程を作成・運用している。全職員に対する情報セキュリティ研修を実施するだけでなく、管理職対象の情報セキュリティ研修を実施して業務の改善に取り組んでいる。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、消防・防災訓練等を計画的に実施している。また、普通救命講習の受講など、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。 ③関係法令を遵守した運営が行われている。また、アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯び確認をおこなっている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	・一定の期間、各施設利用者を対象にアンケートを実施するほか、ホール系施設(催し広場、小劇場、大ホール)利用者には通年でアンケートを実施するなど、計画的に取り組んでいます。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内に設置しています。 ・来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、「ご意見受付シート」を作成、回覧することで改善に努めています。
利用者アンケートの実施結果	【文化センター】 ・「今後も利用したい」の項目で98%の利用者が「はい」と回答しており、職員の対応の項目は「非常に良い」と「良い」の合計が98%の評価でした。 ・ご意見を記入する項目では「職員の対応が丁寧だった」「舞台スタッフと協力してスムーズに準備を行うことができたので今後も利用したい」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。 【市民会館】 ・「今後も利用したい」の項目で96%の利用者が「はい」と回答しており、職員の対応は「非常に良い」と「良い」の合計が100%の評価でした。 ・ご意見を記入する項目では、「利用環境がよく、職員の方の対応も良かった」「事務所の方の対応がよく気持ちよかったから」「急なお願いや多くの日程の予約にも柔軟にご対応頂きました。誠にありがとうございます」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。
利用者からの要望・苦情と対応・改善	【文化センター】 ・空調の効きがイマイチで大変でした。 →小劇場第1楽屋と2Fホワイエの冷房の効きが良くないと連絡があったため、空調用熱源の稼働を1台から2台に増やし、使用していない楽屋の冷房をオフにして風量のバランスを調整することで、室温が下がるように対応しました。 ・小劇場ロビーのモニターに線が入っていて見づらい。 →モニター映像の乱れについては、打ち合わせ時に経年劣化により修復が困難なため、今年度中に更新予定と催しの担当者へ伝えさせていただいておりますが、担当者以外にもわかりやすいようにモニター下に説明文を掲示しました。 【市民会館】 ・冷蔵庫があるといいと思います。 →東棟には給湯室がありますが、場所が狭く置くスペースが確保できません。また、展示ギャラリー内についても電源場所やスペースを勘案すると設置が難しいと考えます。現在のところ設置の予定はありませんが、今後さらにご要望を多くいただくようであれば検討したいと思います。 ・駐車場を広くしてほしい。 →車を停めるところが少ないので、駐車場をもっと設けてほしいとの要望がありました。駐車場の拡張は難しいのですが、来館者には岐阜市役所駐車場をはじめ近隣の有料駐車場をご案内しており、ホームページでは西側駐車場の混雑状況も公開しているため参考にさせていただきようお伝えしています。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	A	A	A
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができているか。	A	A	A
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。また、理解しているか。	A	A	A
		区 分 評 価				
	効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	A	A
既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容			・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	S	S	S
指定事業・自主事業(共催事業)の内容			・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	S	S	S
利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制			・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	A	A	A
利用促進、利用者増の方策			・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	S	S
区 分 評 価					S	
効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
		区 分 評 価				
	安定性 安全性	管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A
職員の管理・人材育成の方策			・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	S	S	S
緊急時の対応			・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。また、防犯に対する対策は適切か。	S	S	S
グループ応募(コンソーシアム)の場合、グループの安定性			・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。			
施設の管理			・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
区 分 評 価					A	
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献してるか	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	S	A	A
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	S	S	S
		区 分 評 価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保 【文化センター】 附属設備等を含む施設使用料が昨年度比で約442万円の減少となりました。催し広場が6月以降特定天井改修工事で利用を停止していることが、施設使用料減少の大きな要因となります。一方、昨年度同様の工事を実施した小劇場の利用が再開しましたが、リピーターのフォローに努め、新規利用者に対して下見や打ち合わせなど丁寧に対応することで、利用の増加につながりました。長良川国際会議場、じゅうろくプラザの休館に伴う企業や学会・大会の問い合わせも増加しているため、これを機会に新たなリピーターを確保できるように努めます。 【市民会館】 附属設備等を含む施設使用料が昨年度比で約96万円の増加となりました。今年度は4月から5月にかけて大ホールの音響設備工事などにより全館の利用を休止しましたが、リピーターの利用が堅調であること、また他館が工事等で利用できず初めて利用いただいた文化団体や加算対象の利用が増えたことが要因になります。長良川国際会議場の休館に伴い学術会議等の問い合わせも引き続きしており今後も利用者への対応を丁寧に行います。 【利用相談会】 特定天井工事が完了し4月から利用を再開した小劇場の利用や、同様の工事のため休館を控えている長良川国際会議場、じゅうろくプラザの代替会場としての利用についてPRすることで、多くの方に来場いただくことができました。文化センターでは利用相談会無料体験を利用した団体が2団体あり、その後1団体はリピーターとして継続利用いただいています。市民会館ではご予約をいただいた新規利用者やお問い合わせをいただいた団体を中心に周知を行いPRしました。利用相談会への参加により、新規予約を確約いただくこともできました。 2. 利用者・来館者への情報提供 ・6月に施設ホームページのリニューアルを行い、施設の空き状況のお問い合わせや施設予約やキャンセル、館内見学のオンライン化など正式に運用を開始しました。また、ホール系施設の具体的な使用例の掲載を始め、来館案内では「小さなお子様連れのお客様」「車イスをご利用のお客様」「ヒアリンググループ」の案内や、コインロッカーやAEDの場所、チケット購入などの案内を充実させるとともに、市民会館では西側駐車場の混雑予想を公開することで来館者によりよくご利用いただけるように改善しました。 ・施設ホームページにWEB申込みフォームを作成し、主催事業の伝統文化体験教室や楽市JAZZ楽団団員募集、松竹大歌舞伎公演のプレ企画や小中学生招待などについてより申し込みしやすい環境を整えました。 ・文化センターでは催し広場が改修工事中のため、空いているロビーを活用して主催事業の告知ポスターや看板、岐阜市イベントや国民文化祭イベントのポスターを掲示してPRを行いました。 ・文化センターロビー設置のテレビを更新し、貸し施設の紹介や主催事業のPRだけでなく、セントラルパーク『金公園』や新能といった岐阜市の施設、事業の動画も流すことで、岐阜市の広報活動に貢献しました。 ・市民会館では視覚障がい者等の安全な歩行に必要な情報を提供するため、昨年度の東棟、北棟階段前及び2階エレベーター前床面に続き、大ホールロビーにおいても警告タイルを設置し、利用者の安全に配慮しました。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ 【文化センター】 ・展示室、第1会議室、茶室付和室の照明をLED照明へ取り替えることで、省エネに努めました。 ・茶室付和室の畳と襖が経年劣化が著しいため、取替修繕を実施しました。 ・消防設備点検において、煙感知器ほかの修繕が必要な設備が確認できたため、取替修繕を実施しました。 ・舞台照明点検において、UPS用充電電池ほか各所で劣化がみられたため、取替修繕を実施しました。 【市民会館】 ・事務所内の照明を一部消灯するなど、休憩時間の光熱費の使用は最低限とし、省エネに努めました。 ・大ホール利用者の利便性向上のため、要望の多い女子トイレ洋便器1か所に温水洗浄便座を設置しました。 ・令和6年12月からの長良川国際会議場休館に伴い、MICE利用増加が見込まれることから、会議室等で無償提供できる簡易的な司会台を購入しました。 ・大ホールには移動可能なスクリーンがなかったため、必要に応じて持ち込みで対応していたが、学術会議などコンベンション利用者の利便性向上を図るため小型スクリーンを購入しました。 ・各室利用者への利便性向上のため、東棟ロビーにポップスタンドを常備しました。 ・利用者の利便性向上のため、展示ギャラリーのワイヤーを追加しました。 ・市民会館東棟入口扉がフロアヒンジの経年劣化により開閉に支障をきたし、ガラスの破損に繋がる可能性があるため修繕を行いました。 ・クーリングシェルター協力施設に指定されたため、運用方法を定め気温や来場者数に応じて適切に対応しました。 4. 市民の劇場・市民ふれあい事業 【市民参画創造型事業】 ・「第46回ぎふアジア映画祭」では、市民ボランティアとともに選出した作品を上映し、岐阜女子大学南アジア研究センターと連携した企画も実施しました。(継続中) ・「第36回・37回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募>」では、第36回の募集において7団体の応募があり、事業の浸透を感じるとともに、地域の芸術文化の発展に努めています。 ・「市民スタッフ育成事業」では、市民ボランティア募集の説明会を開催し、参加した3名とも加入することになりました。 【普及啓発・育成型事業】 ・「子ども伝統文化体験教室」では、岐阜市が落語の祖・安楽庵策伝ゆかりの地ということで、昨年度に引き続き落語を取り上げています。前回の教室が好評であったこともあり再度申し込む方も多く、募集枠を超える応募がありました。 ・「グランドピアノ演奏体験」では、昨年度に引き続き学生が夏休みの日程で実施できるよう調整し、小学生から大学生限定で募集を行いました。文化センターでは募集枠を超える応募があるなど人気が高く、参加者からの感想も大変好評でした。 【鑑賞型事業】 ・平成30年度に実施して好評を得た0才からの音楽シリーズ「絵本deクラシック」を開催するなど、子育て世代に向けて優れた舞台芸術公演をお届けしました。 ・岐阜市出身のロックバンドcinema staffが主宰し、地元のボランティアが実行委員として参加する大型ライブフェスイベントFOOPARTS(オーパーツ)」を初めて共催で実施しました。岐阜を代表する音楽イベントとして広く認知されるよう文化施設として協力するとともに、従来文化センターへ訪れることの少なかった若年層への知名度向上に努め、セントラルパーク『金公園』においてもマルシェを同時開催することで、2日間でのべ3,000人以上の来場がありました。今後も継続的に協力することで、中心市街地の活性化に貢献します。 ・岐阜新聞社・岐阜放送との共催で開催した「荒井里桜ヴァイオリン・リサイタル」では、注目の若手演奏家を取り上げ、演奏だけでなくトークイベントも実施したことで、優れた音楽と演奏家の人となりを紹介することができました。 ・市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募>での採択事業者が、ステップアップの枠組みを活用して「HappyConcert Vol.7」を共催事業として開催し、多くのお子様連れ来場者がライブイベントと音楽が融合したステージを楽しみました。
--------------------------	--

前回までの意見を踏まえた取組み状況	前回意見 ①「新たな取り組みとして、施設ホームページに「空き状況お問い合わせ」「オンライン申し込み」のフォームを追加し市民の利便性を高めるなど、業務改善にも前向きに取り組んでいる。今後も、より多くの利用者が安心して施設を利用できるよう、きめ細やかなサービスを継続することで、市の文化芸術振興の一役を担うことを期待する。」 ②「施設点検における誤操作やFAX誤送信といった事案の発生を防止するため、指定管理者の問題意識の向上を図りたい。」 取組み状況 ①6月からの施設ホームページのリニューアルにおいては、「空き状況お問い合わせ」「オンライン申し込み」どちらも利用は増加傾向にあり、新規団体の成約につながっています。これまでの文化会館運営の経験や利用団体からのご意見を基に、多くの利用者が安心して利用できる施設を目指して準備を進めています。ホームページからの問い合わせに始まり、練習から発表会の会場まで切れ目なく支援できるよう、引き続き対応していきます。 ②施設管理の点検業務は、舞台機構含め専門性の高い内容が含まれているため専門の外部業者への委託によって実施しています。点検業者を監督するにあたり、点検業者の施設点検の際には、点検操作員1人での作業でなく、複数名で確認し合いながら作業をすることで重大事案が生じないように点検業者に周知徹底し、再発防止を図っていきます。また、FAXの誤送信についてもFAX送信時には送信者と確認者でダブルチェックをすることを職員間で徹底することで再発防止を図っていきます。電子メール等使用マニュアルにFAX使用マニュアルを追記しました。
今後の取組み	1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保 ・利用相談会では、利用者のニーズに合わせた施設の活用方法を提案することで、新規利用者の獲得及び稼働率の向上に努めます。 ・市民会館では、各室を使用して展示会を実施する際に仮設電源を使用する団体に向けて、より電源容量の大きな使用が可能になるよう東棟ロビーにある仮設電源を増設します。 ・長良川国際会議場の休館に伴い、例年開催している全日本学生落語選手権「策伝大賞」および春待ち二人会公演が文化会館での開催となるため、下見や打合せ等について協力して実施します。 2. 利用者・来館者への情報提供 ・文化会館で運用するホームページやSNSのアカウント、岐阜市のLINEを活用し、市民の劇場・市民ふれあい事業における参加者募集やチケット発売の告知、施設の催し物案内等、市民への情報提供に努めます。リニューアルしたホームページの主催事業等への申込みフォームの新設により、メールやFAXの申込よりもオンライン申し込みの割合が増加しているため、今後改善を重ねながら活用していきます。 ・文化センターでは、施設南北の玄関にフロアガイドを設置するなど、来館者にわかりやすい案内表示の作成に努めます。 ・市民会館では、東棟ロビーや事務所にデジタルサイネージを活用し自主事業や施設のPRに努めます。 3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ ・費用対効果を考慮しながら、照明のLED化を進めます。 ・冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰等にも対応できるよう、省エネマニュアルに沿って光熱水料費の節約に努めます。 ・文化センターでは猛暑の影響もあり、今期は空調の効きがよくないというご意見が多かったことから、試験的にタワーファンを1台購入し、次年度に備えて楽屋や各室の空調を強化します。 ・市民会館では災害や停電等が発生した場合に備え利用者がすぐに使えるよう、東棟・北棟ロビーにヘルメットや拡声装置等の非常用備品を設置します。 ・市民会館では機器老朽化に伴い、「展示ギャラリー系空調機更新工事」及び「空調機3号機更新工事」を行います。これにより冷暖房の機能が向上し、環境改善が見込まれます。 ・市民会館では機器老朽化に伴い、音響設備・照明設備の非常用電源バッテリーを交換します。これにより停電等の災害時にも機器操作が可能となり、安定したサービスを提供できます。 4. 市民の劇場・市民ふれあい事業 【市民参画創造型事業】 ・11月に「清流の国ぎふ」文化祭2024関連企画を実施します。 「第46回ぎふアジア映画祭」⇒映画上映と併せて、映画監督と岐阜県出身の原作者朝井リョウ氏のトークショーを開催します。 「楽市JAZZ楽団」⇒「清流の国ぎふ」文化祭2024応援大使を務める大前光市氏をゲストに迎えてジャズとダンスのコラボ公演を開催します。 「市民スタッフ事業」⇒市内小学校落語クラブや岐阜大学落語研究会等地元の学生たちによる落語会を開催します。 ・市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」では、岐阜県在住の世界的ドラマー森山威男氏をスペシャルゲストに迎え、「第17回ぎふジャズフェスティバル」を実施します。 ・9月より開催している「第46回ぎふアジア映画祭」では、中国のアニメ映画の上映とともに岐阜市の友好都市杭州市を紹介する展示を実施するなど上半期に引き続き映画祭を開催します。また、次年度の開催に向けて毎月市民ボランティアとともに作品選定・企画会議に取り組みます。 ・「市民スタッフ事業」では2月の「ぎふ文化センター寄席」の開催に向け、市民ボランティアとともに準備を進めていきます。 ・第37回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉の募集を11月から実施し、審査会を令和7年1月に開催します。また、採択事業として、12月にバレエ公演とオペラ公演そして2月にはミュージカル公演の3団体の公演についてチケット販売の広報から当日の受付などの運営までサポートを実施します。 ・グランドピアノ演奏体験は、令和7年1月に市民会館大ホール、2月に文化センター小劇場で各3日間8枠の時間帯で実施します。 【普及啓発・育成型事業】 ・市内小中学校を対象に「楽市JAZZ楽団」によるジャズ演奏や、重要無形文化財保持者らによる能楽のアウトリーチを実施することで、子どもたちが音楽や伝統文化に触れ、親しむ機会を提供します。 ・「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、主催イベントへの出演や市内小学校での出前コンサートのほか、市内医療施設で開催されるイベントに出演することで、ジャズ文化・音楽文化の普及に努めます。 ・地域の文化団体や中学校と連携し、「ぎふ演劇ワークショップ」や「岐阜市中学校美術作品展」を実施します。 ・地元劇団で活躍する劇作家を講師に迎え7月より実施している「戯曲セミナー&リーディング発表会」では3月の優秀短編発表会の開催に向け、準備を進めています。 【鑑賞型事業】 ・「松竹大歌舞伎」「羊と鋼の森」を歩く トーク&コンサート」など優れた舞台芸術公演を実施します。

●所管課の意見

利用者数について、市民会館は4月、5月に全館休館をしていたが、その影響を除けば、コンサート系のホール利用件数が増加したことでコロナ禍前の水準に近づきつつある。文化センターにおいては、6月から催し広場を休止しているが、4月に実施された大型イベントや個人利用の増加により、昨年度以上の入場者数となっている。

施設の維持管理について、設備、備品を中心に老朽化は進行しているものの、管理者点検や修繕等を適切に行っている。

新たな取り組みとして、施設HPのリニューアルを行い本格的にオンライン申し込みを開始するとともに、その他案内の改善等、市民の利便性を高めるなど、業務改善にも前向きに取り組んでいる。

今後も、より多くの利用者が安心して施設を利用できるよう、きめ細やかなサービスを継続することで、市の文化芸術振興の一役を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・コロナ禍前と比較すると、市民会館における有料催事の来場者が戻ってきていないため、利用相談会などを通じて、施設利用の促進をより一層図られたい。

・今後も職員のデジタル技術の向上と、利用者目線に立った接遇を引き続き行っていただきたい。